



飯綱町 議会だより

VOL.
75
発行日 令和6年7月31日

6月定例会の情報をお伝えします 発行／長野県飯綱町議会

定例会	2
一般質問（社会資本・産業・福祉）	5
あの時のあの質問どうなった	16
新しい町づくりへ 私の提案	19

75号表紙説明

今年も天候に恵まれ牟礼小5のキャンプでカヌー体験が行われました。海洋クラブの指導・監視の中で進められ、湖面を自由に行き来しました。



飯綱町議会だよりは「水なし印刷」という環境に配慮したシステムで印刷しています。温室効果ガス排出を減らす（ゼロカーボン社会の実現）と同時に揮発性有機化合物（VOC）排出低減にも効果があります。用紙は「グリーン購入法適合紙」を使用し、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に取り組んでいます。

し尿投入施設工事の遅れ

設計見積もりの概算に不備があり 予算補正を行ったため

6月定例会は、6月3日から20日までの18日間の日程で開催された。提出された議案は、条例の改正が6件、補正予算が3件の計9件。すべて原案通り可決された。陳情は2件で、1件採択された。発議は2件、ともに可決された。

条例改正

飯綱町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例
—可決

飯綱町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部を改正する条例
—可決

飯綱町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の全部を改正する条例
—可決

飯綱町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の全部を改正する条例
—可決

いづれも、国が定める運営基準等について、広範な変更があった。今後も厚生労働省令の大幅な改正が随時見込まれることから規定方法を整理し、形式を簡潔なものにし、速やかなサービスの提供を実現するためのもの。



飯綱町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例
—可決

主な改正内容は、六価クロムの排出基準が定められ、六価クロム化合物として、

1リットル中0.02mg以下。

飯綱町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
—可決

主な改正内容は、子どもの数に対して職員の数を増やす方向に改正。

補正予算

令和6年度飯綱町一般会計補正予算(第1号)
—可決

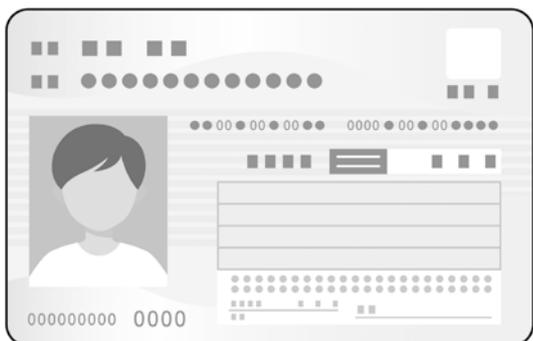
6058万円を増額し、87億3058万円とする。

クロムには、金属と三価のクロム化合物、六価のクロム化合物とがある。このうち六価のクロム化合物は、自然界にほとんど存在しない。人為的に生成されたものがほとんどである。非常に酸化力が強いことから、皮膚疾患の原因となる。また、国際がん研究機関は、六価クロムをグループ1(人に対して発がん性をもつ)に指定している。

主な補正内容は、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による給付金の支払い3500万円。新たに令和6年度に対象になった住民税均等割非課税世帯および住民税均等割のみ課税世帯。

令和6年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
—可決

マイナンバーカードと保険証の一体化に伴うシステム改修として151万円増額し、12億1527万円とする。



し尿投入施設建設予定地



▲奥の白い建物は、クリーン飯綱(牟礼駅東側奥)。敷地の奥から牟礼駅方向を見たところ

令和6年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第1号) 可決

信濃町と共同運用しているし尿処理施設が老朽化のため、令和8年2月で運用終了となる。これに伴い、新たにし尿投入施設を町内の既存の下水処理施設内に新設することとしている。し尿投入施設工事の設計額に不備が生じ、工事発注の遅れにより本年度分の工事が減工となるため、R6年の資本的支出を2億1827万円減額し、7億8813万円とする。また、債

務負担行為の限度額を1億7000万円増額し、8億7000万円とする。公共下水道管路施設工事の発注を単年度発注にしたため、債務負担行為の限度額5億円を廃止する。

訂正

第74号4ページの「後期高齢者医療事業」の文章および図において、「長野広域連合老人福祉」とあるところを「後期高齢者医療広域連合」に訂正します。

陳情

訪問介護報酬

引き上げを

訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書―採択

陳情者 長野地区社会保険推進協議会

会長 菅田敏夫

訪問介護報酬が、この4月から引き下げられた。小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがある。訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める。

賛成討論

伊藤 まゆみ

訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げ再改定を求める運動が広がり、衆院厚労委員会で「介護障害福祉事業所の処遇改善に関する決議」が、全会一致で議決され

た。町民の生活を守るため採択すべきだ。



▶訪問し、サービス内容を確認

委員会での審査内容

説明者 長野地区社会保険推進協議会

事務局長 大西 英之氏

実現には、国費の投入が介護保険料を引き上げしないと叶わない。

財源は、どうするか。

A 国は、そういうところに予算を使ってほしい。

Q 他の介護サービスの利益率が2・4%に対し、訪問介護は7・8%であり、その是正のため引き下げたと理解する。その点はどうか。

A 効率的に訪問できる高齢者の集合住宅や、大都市の大手事業所が平均値を上げていると考える。中山間地域では、移動に時間がかかり、効率が悪い点が反映されていないと考える。

※可否同数となり、委員長裁決で採択とした。

年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情 ―不採択

陳情者 小坪 慎也

国民年金や厚生年金保険の被保険者で日本国籍を有しない人が、出国する際に脱退一時金を請求することができ。年金受給するためには、最低10年間の加入期間が必要で、再入国後生活が困窮した時に生活保護の支給対象になるため、国に制度の是正を求めている。

反対討論

樋口 功

陳情の内容は、厚労省審議会において議論が開かれ、検討を続けていくとされており、あえて

(当議会が)意見書を提出する必要性はない。よって、この陳情に反対する。

発議

自治体を「国の下部組織へ変容させる」ことにつながる「地方自治法の一部を改正する法律案」の廃案を求める意見書
—可決

発議者 渡邊千賀雄

地方自治法の一部改正案の撤廃を

法案は、国の指示権の拡大、恣意的運用の恐れ、及び地方公共団体の自主性を損ねる懸念があり、廃案を求める。

町議会の議決は最終日の6月20日だが、19日に国会で可決されており、廃案の意見書提出はどうか。

議会への発議の提出は14日であり、地方自治に携わる我々にとって看過できない内容である。国会で議決されたとしても今後に生じる重要な問題であるため意見書を提出すべきだ。

令和6年度 6月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	渡邊千賀雄	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	青山弘 (議長)
議案第37号 飯綱町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第38号 飯綱町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号 飯綱町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 飯綱町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 飯綱町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号 飯綱町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 令和6年度飯綱町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
陳情第9号 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○
議案第44号 令和6年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第45号 令和6年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
発議第5号 発議第5号「自治体を「国の下部組織へ変容させる」ことにつながる「地方自治法の一部を改正する法律案」の廃案を求める意見書案」	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○

賛否表

一般質問 社会資本・産業・福祉について質した

一般質問

三ツ井 忠義

6ページ

- ・ 飯綱町の道路整備を

中井 寿一

9ページ

- ・ 過疎対策事業債の使途は

石川 信雄

7ページ

- ・ 地域運営組織(RMO)を
- ・ 出生数とクラス編成は

風間 行男

10ページ

- ・ 減反政策は
- ・ 耕作放棄地の対策を

渡邊 千賀雄

8ページ

- ・ 現在の健康保険証の存続を
- ・ 町民会館の図書室の充実を
- ・ 日本一のりんごの町へ向けた生産拡充の推進を
- ・ 水道事業の広域化は
- ・ 飯綱町が「消滅の可能性がある自治体」と報道されたが

樋口 功

11ページ

- ・ 飯綱町水道整備事業は

伊藤 まゆみ

12ページ

- ・ カスタマーハラメントへの対応は
- ・ 子ども達の医療費の完全窓口無料化を

- ・ 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- ・ 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- ・ 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



初めて議会を傍聴させていただきました。3名の議員の発言質問事項をお聞きしましたが、全員の発言を聞きたいと率直に思いました。

住みやすい飯綱町を構築するためには人口問題、インフラ、店舗の拡充など多くの改善事項があります。それを解決するには町の皆さんが自分の事と意識を持ち、町民の代弁者である議員の生の発言提案を聞き、それに対する町行政の答弁を注視することは大事なことでだと思えます。

傍聴席



宮本 永人さん
(普光寺)

議会にもっと関心を



こんなに有意義な空気を直接体験できる傍聴席なのに、用意された20席以上の席に対して傍聴者はわずか4名！町民の皆さん、飯綱町の活性化を阻むのは無関心なのは。今後傍聴席が増えて来年の改選に向けて活気づくことを願うばかりです。

飯綱町の道路整備を

町長 町道は責任を持って管理する



三ツ井 忠義議員

三ツ井 (1) 牟礼駅入口交差点の信号機から、普光寺の塩ノ入交差点の信号機までの白線が消えているので、左右、真ん中の各線を引いてもらいたい。また、塩ノ入交差点に押しボタンを設置してもらいたい。

町長 公安委員会に。

三ツ井 飯綱町の役場の人(1)(2)番を検討(白線)してもらいたい。(2)深沢の信号機から、倉井新道交差点まで、白線が消えている。左右、真ん中の所、線を引いてもらいたい。押しボタンを設置。(3)牟礼駅から、福井団地まで、白線が消えているので引いてもらいたい。
町長 これは町長が、町道なので白線引いてくれると言っていました。

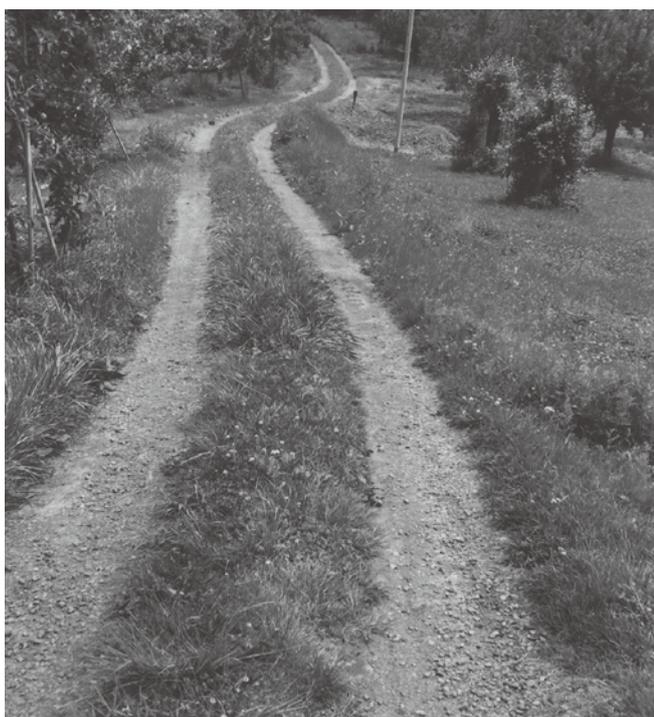
三ツ井 (4) 上赤塩交差点の信号機、馬場から、豊野町大倉トンネルの中も、左右も真ん中も白線。馬場の信号機も、押しボタン設置。

(5) 牟礼本町ガード下から、飯綱病院場所まで、白線が消えているので引いてもらいたい。

建設水道課長 この道路は県道並び町道K1-3号線

が接続する路線です。
(6) 東原、大久保線アスファルトの中のツツ家から、川谷、風坂へ行く所、北信五岳道路、広域農道出る所まで、アスファルト舗装してもらいたい。
町長 風坂の組長に。

※
正しくは、議事録を参照してください。
議会WEB上にて、YOUTUBEもご覧になれます。



▲風坂



▲牟礼駅から福井団地

新しい集落の在り方を

町長 住民の声を基に進める



石川 信雄

一般質問

農村RMO（イメージ図）



地域運営組織 (RMO) について

石川 前回、コミュニティの件に触れた質問をした。集落の単位についても前々から住民協議会のようなも

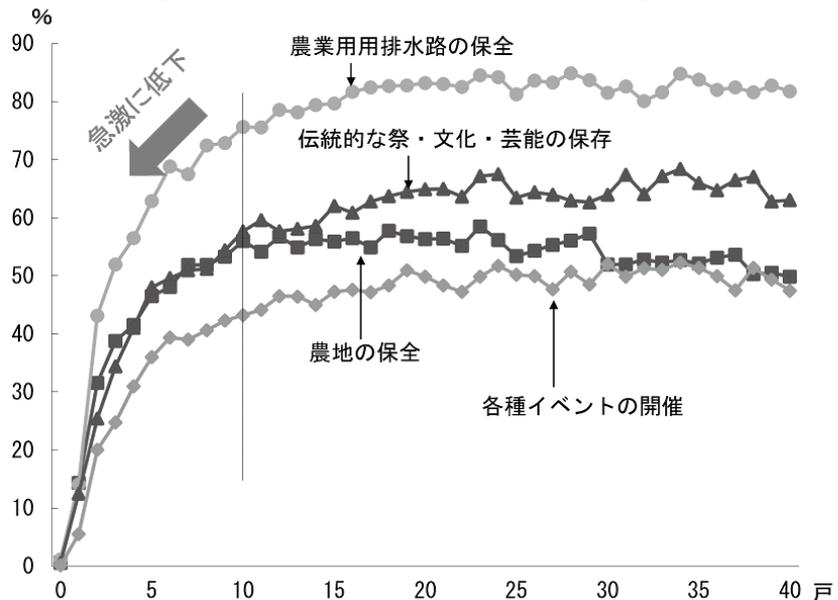
の設置をしてはと提案もしたが、その後の進捗状況は。

町長 今年度の区長組長の代表者会議で、将来にわたって維持継続できるような自治会の在り方活動はどう

複数の集落機能を補完

人口が少しずつ減り、結果的に集落の維持が難しくなっている。町長は、その後の進捗状況を伺っている。町長 活性化策を一つずつ積み重ねていくことによって、結果的に人口が少しずつ減り、結果的に集落の維持が難しくなっている。町長は、その後の進捗状況を伺っている。

【集落活動の実施率と総戸数の関係】



資料：農林水産政策研究所「日本農業・農業構造の展開過程-2015年農林業センサスの総合分析-」（2018年12月）

※イメージ図及び資料とも農林水産省ホームページより引用

つ増えていけばと。減り方においても微減の世界に入っていくかと思っている。石川 民間や大学、いわゆる産官学連携の現状は。価値共創といった社会資本の新機軸をどう捉えているか。町長 産官学だけが集まっ

一つ大きな収益事業とかそういうものに結びついてこないやっぱ面白くない。成果が出てこない、価値がないなっていうのは最近感じてきているので、そこら辺を大いに重視してこれからも進めていきたいと思っている。

現在の健康保険証の存続を

町長 国の方針で12月2日廃止



渡邊 千賀雄議員

現在の国民健康保険証の存続を

渡邊 国民皆保険制度が崩れる現行の保険証の廃止を延期する考えはないか。

住民環境課長 12月2日から現行の保険証を廃止するとして国の方針に沿って対応していく。

渡邊 当面、現行の保険証を残し使えるようにしつつ、マイナ保険証を使いたい人は、使えるようにしていく



▲「山本太郎(詩人)文庫」も有効利用を。りんごパークセンター内

べきだ。
町長 国がマイナカードへの国民の不信感を払しょくしなければならぬ。

図書館・図書室の充実を

渡邊 現在、町民会館の図書室の改修が行われているが、施設、資料及び電子情報提供など、図書館サービスの充実を図れないか。
教育次長 公民館図書室ということで、要望意見を参考に利用頻度の向上を図っていく。

渡邊 司書等配置の考えは。

教育長 図書室の規模からして難しい。図書環境を整えるよう今後も努めていく。

「日本一のりんごの町へ」向けた生産を

渡邊 わが町の基幹産業である農業。そして儲かる農業をめざしてのりんご生産だ。ふるさと納税も好調で引きつづき増収傾向と思われ、今

後は主要返礼品のりんごの量と質の確保が重要な課題だ。

りんごを奨励作物に加えて生産の維持向上を図ることは。

町長 一時期、旧三水村が、国内総生産で100万トンの1%を生産した時があった。去年の国内生産量は60万トン割ったという報道もある。奨励作物に今は考えていない。

渡邊 ふるさと納税の寄付金をりんご生産支援に充当することは。

町長 県下4番目のふるさと納税金。3億円は町長にお任せ額だ。

現在、農業に対する支援に手厚く取り組んでいる。

水道事業の広域化への対応は

渡邊 隣の長野市等では検討が進められているようだが当町では。

町長 外注業務、薬品の共同購入などで、長野、上田、千曲、坂城、企業局の協議



▲今年のりんごの量と質は。収穫用に積まれたコンテナ

に当町も加入している。水道事業の民間委託の考えはない。

「消滅の可能性がある」と報道されたが

渡邊 飯綱町としての対応は。

町長 記事によって右往左往するというような考えは全くない。人口増対策を地道にやっていく。

過疎債の使い途は

町長 住宅建設のみに 使うことはできない



中井 寿一議員

低い財政力指数は

中井 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく過疎対策事業債の条件は、人口減少率が大きいこと、且つ、財政力指数が全国市町村の平均より低いことである。人口減少率は多くの市町村が該当する。全国市町村の財政力指数の平均は、0.51。全国の村の平均(0.29)より低い町の財政力指数(0.26)について、町長はどう考えるか。

過疎債の意義は

中井 過疎債の意義をどう捉えているか。
町長 持続的発展計画に従い過疎債を使っている。
中井 今年予算では過疎債約3億3千万円の内、約半分が過疎対策と関係ないと思われるが。

町長 8千770万円は、住宅建設である。過疎債は何にでも使える。

「自立」を

どう考えるか

中井 特別措置法には、確かに何にでも使えると書いてある。ただし、特別措置法や過疎債には、有効期限がある。今の町を例えると、過疎という病で入院し、栄養剤を貰っている患者である。栄養剤がなくなれば死んでしまう。患者に必要なのは、過疎という病を治す薬ではないか。

先日、公表された消滅可能性のある地方公共団体に、飯綱町は含まれている。特別措置法の前文に「これらの地域の自立に向けて」とある。最終目標は過疎脱却である。そのためには、財政力指数を上げるか、人口減を止めるなければならぬ。このことについてどう

考えるか。

町長 若者定住住宅の建設費用に一番お金を使っている。

持続的発展計画の

達成は

中井 持続的発展計画には、「圧倒的に居住物件が不足」とある。また、社会増の目標はプラス55人である。近年の実績は、ほぼマイナス14人からマイナス69人である。目標達成に必要な住宅

軒数は。

町長 毎年、新築の住宅を造ると福祉行政ができなくなる。過疎債のハード事業分全額を充てても毎年4軒しか建てられない。だから補助金を出して民間業者に建ててもらいたい。

中井 社会増をプラス55人にするには、毎年4棟でも足りない。プラス55人にするための対策はあるか。
町長 町全体の魅力を上げて、転出者を抑える。



過疎の病

栄養剤



◀ 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法へのリンク

持続可能な農業経営、 町独自の支援は

町長 生産米60キロ当たり 1000円を支援してきた



風間 行男議員

一般質問

風間 持続可能な農業経営のための町独自の支援策は、減反政策の中では多収でない米の補助金が下げられた減反政策にも影響が出てきている。その対策は。

町長 60キロ1000円予算化し支援してきた。飯綱産酒米を主原料にした酒を国外に販売、有機米を学校給食に100%使用し厚く支援して推奨していきたい。米のブランド化、PRを一



▲特別栽培水田

層進めたい。産業観光課長 米のブランド化として公社の催事でPR、食味計により可視化し全国米のコンクール参加費用の支援をしていく。

風間 減反生産米で米粉の生産を考えては。

町長 米粉のグルテンフリーの考え方が見直され、使用量が増えてきている。スキルの上がった機械を考えられている。

風間 米を使用したオリジナルクラフトビールを造り、販売してはどうか。

町長 シードルも大きな位置付けになっている。取り組んでくれる農家と醸造所を町がどう支援するのか。県の活性化プロジェクトで米の多目的利用も取り組んでくれる。

風間 農家と住民が一体となり、耕作放棄地を分担し農地再生する取組は。



▲耕作放棄地

町長 理想的なスタイルだが、3年耕作していなければ有機栽培が可能だが、整備に大きなお金がかかる。実際に何をするかは難しい。持ち帰って考えたい。

風間 ある町では町職員が半日参加して耕作放棄地対策に取り組んでいる。

町長 農家との触れ合いも面白い。地域計画を作る一筆ごととするのか決めるとき職員に呼び掛けていく。

風間 母親グループが中心になって親子連れを募集し、種蒔きから草取り、収穫し学校給食に使うことで自然栽培の理解が深まると思うが。

町長 耕作地においてもアグリカルチャーとしての取組は良いことだ。農業によって精神的な落ち着き、作物の成長を見ることは人の成長にも大変良いこと。進めたいと思う。

生産者と消費者の区別のない「二体化」で共に作り、共に食べる仕組みづくりは

水源を鳥居川から地下水へ

三水地区で新水道水が 飲めるのはいつか

建設水道課長 令和9年度中を予定



樋口 功議員

一般質問



▲新たな水源の芋川地籍土橋付近

上水道整備事業の 主な内容は

樋口 町は牟礼水道事業と三水水道事業を統合し、4月1日から飯綱町水道事業

上水道事業基本計画における主な整備事業

- ①令和6年～20年の15年間の計画で整備総工事費40億4千万円
- ②5年ごとに短期・中期長期に分けて整備
- 短期 三水地区の土橋水源系拡大事業
柿原地区区域拡張管路整備事業
- 中長期 牟礼地区配水池統廃合事業
第1系・福井系送配水管再構築事業

三水地区の土橋水源 拡大整備事業は

建設水道課長 水源を鳥居川から新たに掘削した芋川地籍土橋の地下水に切り替えるため、取水施設建設工事等を行う。

として上水道事業経営を進めることになったが、主な整備事業の内容は。

建設水道課長 表「上水道事業基本計画における主な整備事業」のとおり。

三水地区で新水道水 が飲めるのはいつか

建設水道課長 令和9年度には全世界で飲めるようにしたい。

牟礼地区を中心とした水道施設、管路の老朽化対策及び耐久 化事業は

樋口 耐用年数(40年)を超えた水道管を老朽化したものとしており、その割合は全国平均22・1%であるが、町の状況と対策は。建設水道課長 牟礼地区が52・07%、三水地区が3・8%。人工衛星を利用した

漏水調査の実証実験やAIを活用した老朽管分析を検討していく。

樋口 国は2028年度末の耐震化率を60%以上としたが、町の現状と今後の対応は。

建設水道課長 町の耐震化率は約30%。今後も耐震管を布設していく。

今後の水道事業経営 の課題と対策は

樋口 令和5年度町水道事業の業務状況は。

建設水道課長 純利益は3327万円だが、町負担金等が6251万円あり、差し引くと純損失2923万円となる。

樋口 町は合併以来、今日まで消費税分を除いて水道料金を上げていないが、水道料金はどのような状況か。建設水道課長 1ヶ月当たり10mの水道料金は、全国平均1597円、県平均1591円で、当町は1375円。長野地域振興局管内9市町村では一番安い。

樋口 公営企業会計の目的の一つは、住民サービスを提供し、その費用は受益者

からの料金で回収すること。水道普及率が99%であることや、今後、人口減少が進むことで収益増は見込めない。有収率を上げる必要があるが、大幅な経費削減が見込めない。今回の水道事業計画も見据え、水道料金の値上げを検討する時期ではないか。

町長 整備事業を確実に実施し、後の水道事業が円滑に進められる対策を講ずる必要がある。水道料金の改定も含め、水道事業運営審議会に諮問し、住民から理解を得たい。

新水道事業への町長の 思いは

樋口 合併以来、課題だった水道問題が解決することになった。その思いは。

町長 生活上、絶対必要なものを整備することが行政の責務と考えてきたが、芋川地籍土橋に井戸水が確保でき、水道事業計画を進めることとなった。今後も真剣に努力する。

※事業計画は、水道事業経営戦略により町から周知される予定です。

カスタマーハラスメントへの 対応は

副町長 対応マニュアル 早急に考えたい



伊藤 まゆみ議員

一般質問

伊藤 カスタマーハラスメントの被害を防止するため、従業員の相談に対応する仕組みづくりを企業に義務付ける必要があるかどうか、厚生労働省が検討を進めている。行政に対して行われることも増えていると聞いている。

当町における現状を把握しているか。

副町長 窓口で対応に苦慮したことは、何回かある。セクハラ、妊娠・出産ハラスメント、パワハラなどのはっきりした線引きが難しい。



▲業務にあたる職員

伊藤 カスタマーハラスメントに対応するマニュアル等はあるか。

副町長 町としてのものはない。国が企業向けマニュアルを公表している。

職員の名札への配慮として、6月3日から名字のみに変更した。

伊藤 職員の心と身体の健康を守らなくてはならない。精神的に追い詰められることのないよう、どんなフォローをしているか。

副町長 ひどいクレーム対応の研修を受けている。窓口では、複数での対応を指導しており、弁護士などの第三者機関に相談もできる。

メンタルヘルス相談員への相談体制を整えている。

伊藤 条例制定により、カスタマーハラスメントの件数が減ると聞かれていますか。

副町長 東京都で検討していると聞いている。国や都、県内自

治体の状況や効果を見極めたい。現状では、考えていない。

カスタマーハラスメント

顧客や取引先による従業員への暴言、過剰な要求といった迷惑行為。精神疾患を発症したり、退職に追い込まれる人が相次ぎ、社会問題化している。

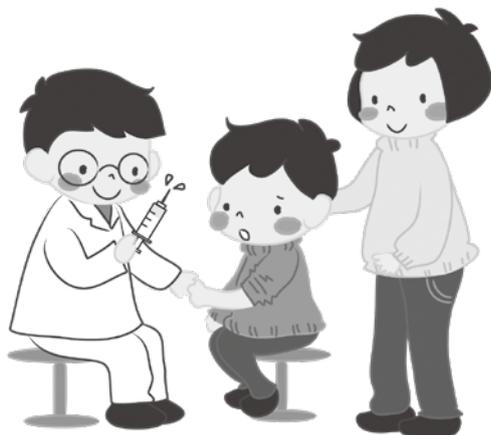
子どもの医療費 完全無料化を

伊藤 今年度から長野県の子どもの医療費支援の対象が小学3年生から中学3年生までに拡大された。県内では窓口での5000円の負担を減額、免除している自治体が増えている。保健福祉課長 早期発見、早期治療は大事だが、無償化は受診の過剰につながるの見解がある。町の財政負担

は、620万円と試算される。

伊藤 子どもの医療費を国より手厚く支援している自治体に課していた国民健康保険のペナルティーが今年度から廃止された。子育て世帯の経済状況は厳しさを増しており、当町でも優先して取り組むべき施策だ。

町長 子ども医療費は、1・3・1・4倍増えている。「異次元の子育て支援」を唱える国でみてもらいたい。長野市や松本市で5000円の負担の廃止を検討している。近隣で何もしないという訳にはいかない。





長野広域連合一般廃棄物最終処分場 及び同焼却施設視察

(福祉文教常任委員会視察)

6月11日

一般廃棄物最終処分場 (エコパーク須坂)

説明者 長野広域連合事務局環境推進課係長 石坂 恒夫

視察の目的 長野広域連合における一般廃棄物最終処分場について、現在の施設が満杯となった後の新たな施設候補地に飯綱町町内が挙げられていることから、今後の議会活動に資するため、視察を行った。

・概要

- 敷地面積 約10.6ha
- 施設の種類 一般廃棄物最終処分場 (オープン型)
- 埋立開始 令和3年2月
- 埋立面積 16,700㎡、埋立容量 85,000㎡
- 埋立物 溶融スラグ、飛灰処理物、溶融不適物
- 遮水工 二重洒水シート、電気的漏水検知システム (測定電極142個)



▲右手奥で搬入が進んでいる

埋立地に降った雨が埋立物の中にしみ込んで出た水 (浸出水) が埋立地外に漏れ出ることなく、安全に浸出処理施設に送れる仕組みについて詳しく説明を受けた。

焼却施設 (長野環境エネルギーセンター)

説明者 長野広域連合事務局環境推進課主査 松本 栄一

視察の目的 最終処分場に一般廃棄物を搬出する当該施設について、その処理状況 (焼却) を知る必要があることから視察を行った。

・概要

- 敷地面積 40,676.03㎡
- 施設 工場棟、管理棟、煙突、焼却炉、灰熔融炉、発電設備、
- 稼働開始 2019年3月
- 処理方式 ストーカ焼却炉、電気式 (プラズマ) 灰熔融炉
- 処理能力 焼却炉 405t/日×3炉、灰熔融炉 22t/日×2炉
- 発電設備 蒸気タービン発電機 (定格出力7,910kW)

5つのテーマを重視し、環境の情報発信の場として地域住民に信頼される施設を目指す。

- ・安心・安全な施設と運営
 - 2mの盛土と自動起動防水堤による浸水対策
 - 耐震構造設計による地震対策
- ・環境への配慮及び貢献
 - 灰、スラグの有効利用による最終処分量の削減
- ・周辺環境との調和と環境教育への寄与
- ・事業の安全性
- ・地域への貢献

安定したごみの焼却処理だけでなく、発生した熱による高効率発電や熱供給、焼却灰の資源化など資源の有効利用に取り組んでいる。



▲ゴミ投入ピットで使われてるクレーンのグラブの実物大模型

モニターアンケートにお答えします

議会だより第74号(3月定例会)

多くのモニターの皆さんから、声を寄せていただきありがとうございます。
紙面の都合で全部報告できませんが、主な意見とそれへの回答・見解です。

■今号の内容や編集について(表紙・見出し・写真・紙面構成など)

Q

- ・ふるさと納税の寄付額の多さに驚きました。基金に積んでいることは大切だと思います。自然災害などに備えて、備蓄品の購入等に当ててもらいたいと思います。

A

- ・ふるさと納税の寄付金は、一旦基金に積み、その後、支出に充てられます。支出の内容については広報「いづな通信」6月号に掲載されています。備蓄品も重要と考えます。

Q

- ・広報「いづな通信」との棲み分け(記事、資料、写真など)が方針・慣例としてあるのかないのか存じませんが、うまくマッチングできている感じがしています。

A

- ・それぞれの立場で、報告・見える化を図り、町民の皆さんにお届けしています。

Q

- ・各議員の質問回数を表にして欲しいとの要望に対して「自分で調べろ」との回答はいかがなものでしょうか…見える化は大事です。

A

- ・議員活動の見える化として、一覧表を作成しました。これからも定期的に報告していきたいと思います。

質問回数(今任期中 令和3年12月～令和6年6月)

	氏名	回数		氏名	回数
1	三ツ井 忠義	1	9	目須田 修	1
2	中井 寿一	11	10	石川 信雄	7
3	小林 文廣	0	11	清水 満	2
4	瀧野 良枝	7	12	大川 憲明	1
5	渡邊 千賀雄(前半議長)	3	13	伊藤 まゆみ	10
6	中島 和子	6	14	原田 幸長	4
7	樋口 功	5	15	青山 弘(後半議長)	2
8	風間 行男	5			

議会白書より

Q

・予算書の見方について解説されていて勉強になりましたが、素人にはちょっと難しく感じました。

A

・予算書、決算書などは、数字が多くて難しく感じるかもしれませんが、関心をもって読み解いてください。

Q

・今回の議会だよりモニター生の声の記事、とても共感しました。もっと多くの方にモニターとして参加していただくのも議会に関心を持ってもらうよい機会だと思います。

A

・約50の方にモニターになってもらっています。任期は2年で各議員がお願いしています。

モニターアンケート

■議会だよりを通じて欲しい情報は

Q

・公民館図書館を1階にというのは初めて聞いたので、とても嬉しく感じた。こういう有益な情報は嬉しい。

A

・町民会館図書室は、場所も狭く2階でした。改修と合わせて1階に移し、図書室機能の充実を図っていきます。大いに利用してください。

Q

・議員定数・報酬課題に取り組んでいる経過報告、他議会の状況報告をお願いします。

A

・議会だより等でお知らせはしてきましたが、今後、町民懇談会を開催していきます。

Q

・議員の方々の質問によって、あまり考えてもいなかったことを知ることが多々あり、とても参考になります。これからもよろしくお願いします。

A

・一般質問等で、行政を質すことは、議員の大事な仕事のひとつだと思います。皆さんからの意見や要望もお寄せください。

Q

・一般質問をする議員がもっと増えれば質問を通して町の課題、取組を住民も知ることができるので、多くの議員が一般質問をすることを期待する。

A

・期待に応えるべく、取り組みます。



あの時の あの質問 どうなった??

～令和5年9月・12月定例会一般質問答弁の進捗状況から～

Q 期日前投票の投票所を増やす考え方はないか。

A 選挙管理委員会の中で期日前投票所の複数設置について研究していく。



対応 複数設置や移動支援、移動期日前投票所など、より投票率アップのための最善策を選挙管理委員会で研究していく。

▲投票には必ず行きましょう



▲希望をもって勉学に。将来は町へ!

Q 奨学金返還支援制度は。

A 地域の活性化、そして若者人口の増等につながる政策であることから、前向きに検討する。

対応 飯綱町若者UIターン者等奨学金返還支援補助金を創設した。

Q 牟礼駅に19時10分以後に到着した場合、バスやタクシーなど公共交通手段がない。対策は。

A iバスの利用形態をフルデマンド化に移行して利便性を確保することや、夜間等におけるタクシーの確保など検討する。

対応 6年度中にiバス運行のフルデマンド化に向けた実証実験運行を実施するとともに、夜間のタクシー運航体制の確保に努める。



▲鉄道は残したい(牟礼駅)



▲好評なりんご(直売所さんちゃん)

Q ふるさと振興公社の経営について、赤字が続く体質の改善を。

A 現場職員との打ち合わせを重ね、経営改善に向けて取り組んでいく。

対応 業務改善を行う中で、ふるさと納税、加工所、直売所、ネット販売部門での営業が改善されたことにより、公社全体での営業成績は黒字化が望める状況となっている。今後は、赤字部門の改善に注力し、累積の赤字解消に向け取り組んでいく。

あの質問どうなった

Q 有機農産物、有機栽培米、JAS 認証について。

オーガニックビレッジ

A みどりの食料システム戦略推進交付金を活用し、有機農産物の栽培、消費拡大を図りたい。



対応 令和6年4月に飯綱町有機農業実施計画を策定し「オーガニックビレッジ宣言」を行った。今後、この計画に基づき取り組み面積の拡大と地域内消費の拡大等を図っていく。

あの質問どっになった

Q 地域医療を守り、拡充を図るような施策を考えているか。

A 持続可能な地域医療提供体制を確保するため飯綱病院経営強化プランの策定に取り組んでいます。広報等で病院を知ってもらえるよう努力していきます。

- ・2月13日議会全員協議会で伊藤院長より策定方針の説明。
- ・4月23日飯綱病院経営強化プラン(案)を議会全員協議会で説明。
- ・令和6年5月広報の特集で「持続可能な地域医療を目指して」を掲載。



▲「飯綱病院経営強化プラン」策定

対応

- ・計画の確実な実施と増収対策のためのコンサル業務を開始(令和6年4月～)。
- ・コンサル事業者と院内の情報共有、役割分担を明確にするため部署長参加によるキックオフの開催(5月27日)。



▲部活の地域移行の議論は、今年から本格化

Q 部活地域移行の進捗状況は。

A 国で示しているスケジュールに沿って進めていきたい、必要に応じて近隣市町村と連携調整を図り移行を進めていきたい。

対応 各種団体と協議を行い、調整中。令和7年度中に休日の活動移行。

Q 各種イベントの安全をどう考えるか。レスキューボートの修繕について。

A レスキューボートについて、B&G財団の補助事業等について助成を活用しながら計画的に更新を行って参りたい。

対応 B&G補助事業等調整後更新済み。



▲エンジン付きゴムボート配備

議会だよりモニターお疲れ様でした

2年間モニターを務めていただきありがとうございました。今回は、モニターに関していただいたご意見を載せます。

- ・議会広報モニターを務めさせていただき、議会報を読むきっかけとなりました。議会報の中でも、モニターアンケートの回答ページは、毎回気になる項目の一つでした。
- ・これまでの取り組みを継続してください。
実用的な意見などあまり出せずに恐縮でしたが、ほぼ全ページしっかり読み通すようになり、とても参考になりました。乱筆乱文にて申し訳ありません。
- ・議会だよりのモニターについて提案
特定した人に議会だよりの意見を募るのではなく、町民全体から意見をとるのがいいと思います。議会に対して、町民全体から常に意見をとるほうが町民全体での関心も高まると同時に、幅広い意見がでるかと思えます。

鈴木 島貫	島田 かおり	渋谷 正敏	渋谷 佳代子	近藤 守	近藤 寿和	小林 光夫	小林 勝則	小林 一幸	小林 和春	木賀田 敏文	木内 康徳	大坪 良吉	大島 有希	植田 麻緒	岩本 美砂	石川 陽子	浅岡 義樹	青山 綾	相澤 亮	
東高原	福井団地	野村上	谷	坂上	西黒川	西黒川	毛野	野村上	田中	牟礼	西黒川	福井	福井団地	寺村	東高原	中村	福井	坂上	川北東部	高坂
他匿名希望5名	(五十音順・敬称略)	渡邊 領子	蓬田 かおる	村田 政敬	宗像 大樹	宮本 隆之	三ツ井 善文	藤田 隆	藤沢 豊	藤木 貴博	濱野 成隆	羽入田 馨	長橋 学	永野 陽香	中嶋 彩花	外谷 照男	徳永 容子	勅使瓦 慧	高橋 公子	関 和彦
		福井団地	福井団地	東高原	普光寺西部	川北東部	川谷	毛野	下赤塩	古町	普光寺西部	普光寺中部	普光寺中部	上赤塩	栄町	坂口	深沢	普光寺西部	倉井川西	毛野

新たに議会だよりモニター45名

第9次のモニターが決定しました。

任期は2024年8月から2026年7月までです。

モニターの皆さんからいただいたご意見は、議会だよりに活かすほか、議会だよりでお答えしたり、議会での政策提言につなげてまいります。

新しい町づくりへ 私の提案

第35回

様々な人に飯綱町へ来てもらうには



清水 元樹さん
(倉井)

私は飯綱町の移住者が増えるには、様々な人に知ってもらうことや、お試しに一度どのような理由でも足を運んでもらうことが大事だと思います。

なので、まず、観光や移住を考えている方以外にも、サテライトオフィスの誘致、また、リモートワークなどを行える場所を作るなどをして、リモートワークを行い、それ以外の時間に飯綱町の事を知ってもらい、そこから飯綱町に興味を持ってもらい、移住などを考えてもらえたら良いと思います。

また、地域おこし協力隊や町内の人と協力し、外から人を呼べるようなイベントなどを行ったりして、飯綱町を知って欲しいと思いました。

新しい町づくりへ 私の提案



佐竹 淳史さん
(野村上)

私は飯綱町での生活が5年目になりました。移住してから新しくオープンした飲食店も多く、年々活気づいていくのを感じています。観光や飲食店など町外からのニーズに对应しているものも多く、生活レベルで見つめると不便な点も多くあります。そこで2点ほど不躰ですが意見を記させていただきます。

1点目は、暗いことです。夜間に出歩くことは基本的にありませんが、外灯が少なく運転して歩いて歩行者に気が付かないということがよくあります。高岡地区は特にその印象を持っています。

2点目はスーパーの規模が小さい点です。長野市や中野市のスーパーで買い物をしているという話をよく耳にします。実際、私もその一人です。長野市にあるようなスーパーが1店舗でも飯綱町にできれば大きな変革になると考えます。以上をもって私の意見とさせていただきます。

地域で子育てを



山崎 雄一さん
(平出)

出生率の低下、少子化など日本の未来に対し悲観的な課題が多くあります。その課題に対し、児童手当など様々な少子化対策が施行されています。ただ残念な事に人口減少の流れには抗えず、これからはどう対処していくかが喫緊の課題になってきました。このような大きな事象は国家レベルの課題であり、私達ができることは選挙で民意を示すことしか現状ではありません。

私事ですが、昨年度まで地区育成会執行部の一員として活動して参りました。幸いにも私の住む地区は、地域で子育てをという空気が成熟しており、各事業の活動に多くの協力、ご理解をいただき活動できました。

【地域で子育てを】が根付く地域では、出生率は基より1.7ターンの、移住者も高水準で推移しています。

私は大きなことはできませんが、地域で子育てをという意識を持つことはできます。

飯綱町全体がそのような空気を作り出せたら、より発展できると確信しております。

飯綱町議会 議員定数・報酬に関する講演会 及び住民懇談会の開催について

■講演会

日時 8月17日(土) 午後2時から
会場 飯綱中学校 講堂
内容 適正な議員定数・報酬を考える際の留意点



講演会 講師
大正大学 教授 江藤 俊昭氏

■住民懇談会

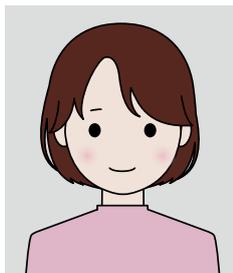
開催日	開催時間	会場
8月18日(日)	10:00~11:30	野村上公民館
	14:00~15:30	上村コミュニティーセンター
8月24日(土)	10:00~11:30	普光寺公民館
	14:00~15:30	赤東コミュニティー消防センター
8月25日(日)	10:00~11:30	町民会館 和室
	14:00~15:30	芋川防災センター
8月31日(土)	10:00~11:30	倉井コミュニティー消防センター

ご参加は、ご都合の良い会場へお出掛けください。

■9月定例会予定
9月2日~9月24日(23日間)
一般質問
9月5日(木)・9月6日(金)
常任委員会
9月9日(月)・9月10日(火)

議会だよりモニター 生の声 36

2年間の「議会だよりモニター」を終えて



蟹澤 純子さん
(福井)

「議会だよりモニター」という形で「議会だより」に積極的に携われる機会をいただけたことに感謝いたします。
飯綱町として、今、何について考えねばいけないの

か。どのような糸口を見つけ、解決し、そして切り開いていくのかという過程も垣間見られました。

表紙・内容・問題点、今後の議会への希望などを毎回、詳細に意見を伝えることができたことと、各モニターの方々の意見のフィードバックを通し、より良い議会だよりになるよう誠意取り組まれていることも感じられました。

制作する、発信する側に立つと、なかなか思うように表現できないものだと推測します。希望をお伝えするとすれば、もう少し町民の活動について興味を持ち、取材し町民の代表者として

のスタンスで、温かく伝え、一緒に考える、現地調査報告のようなページがもっとあると素敵だなと思います。一般質問の質疑応答とリンクした内容づくりも必要ではと考えます。

「議会だより」というツールを紙媒体だけでなく動画なども多様し、一方通行にならないよう、これからの制作・発行に期待しかありません。
2年間、本当にありがとうございました。

編集後記

今年最終戦から79年。飯綱町戦没者追悼式が行われました。遺族会を支える方々は代替わりしています。世界からも戦禍を伝えられる毎日です。
家族で平和について語り合う機会が持てるとうれいですね。

(ま)

編集委員

発行人 青山 弘
委員長 石川 信雄
副委員長 中井 寿一
委員 三ツ井 忠義
委員 小林 文廣
委員 渡邊 千賀雄
委員 伊藤 まゆみ